

# 高津川 だより



卷頭言／令和5年

## 新年のご挨拶

こんにちは！  
益田日赤研修医室です

特集／  
知つておきたい  
二次性骨折予防について

外来担当一覧  
DMATだより  
院内のご報告

## - 卷頭言 -

# 令和5年 新年のご挨拶

益田赤十字病院 院長 木谷 光博



明けましておめでとうございます。  
2023年は穏やかな天候で始まりました。皆様方におかれまして良い年でありますようにお祈りします。

さて、2020年1月ダイヤモンドプリンセス号より始まった新型コロナ感染症の流行は4年目に入ろうとしています。現在は第8波の真最中で患者数は日々増加している状況です。当院も昨年に職員・病棟でのクラスターの発生を経験しました。皆さんに大変なご苦労をおかけしましたが、ある程度の入院制限を実施し、ほぼ通常の診療を行うことができました。地域の方の医療を守るという当院の使命を果たすことができ、ほっとしています。ありがとうございました。本年もご苦労をおかけしますが、地域の医療を止めないよう、困難を乗り越えて行きましょう。

2023年は何があっても医療を止めない。災害時には直ちに救援救護に地域にとって必要とされる医療機関であるように努力しましょう。本年もよろしくお願ひします。

が無関心にならないように心がけましょう。また気候変動も世界的な問題となつております。南海トラフによる震災に対する備えが必要です。当院は赤十字病院の使命として、通常の診療に加え災害時の対応が求められます。平時の備えにおいても準備を怠らず大規模災害に備えましょう。

世界情勢をみると、コロナパンデミックに伴い、世界のサプライチェーンの破綻による経済不況、ロシアのウクライナ侵攻による食糧危機などが発生しています。最近の物価高も世界の様々な危機と連動しているものです。コロナパンデミックにより、人と人との関係が疎かになってきており、自己中心的な行動も目立ちます。私たち医療人は、チームワークが最も重要です。お互いを理解し助け合うこと、お互い



＼こんにちは！／

# 「益田日赤研修医室」です



## ●初期臨床研修医1年目 森山 志保（もりやま・しほ）

出身／島根県出雲市



## ●初期臨床研修医1年目 山崎 菜々子（やまさき・ななこ）

出身／島根県益田市



こんにちは。益田赤十字病院研修医1年目の森山 志保です。出身は出雲市で大学生までずっと出雲市で過ごしてきました。

個人的には益田は平野が広があり、出雲と似たような街の雰囲気を感じています。初めての土地、初めての一人暮らし。最初は不安も大きかったです。周りの支えてくださる方々のおかげで楽しく、充実した日々を送ることができます。もうすぐ1年が経とうとしていることに驚いています。

島根県民ではありますが益田市は伺う機会がありませんでした。大学5年生の時に益田赤十字病院で実習する機会があり、そこで地域に根付いた病院であり、熱く指導しておられる先生方の姿やのびのびと仲良く研修してお

られる研修医の姿を見て、この輪の中に入って研修したいと思いました。

春から研修医として実際の医療現場に関わり、勉強不足を実感することばかりですが、その中でも出来ることが少しずつ増えていくことに喜びを感じています。先生方やスタッフの方に優しく指導していただきたり、声をかけてくださったりと温かく明るい環境で学ばさせていただきとても感謝しております。

まだまだ未熟者ですが、これからも多くのことを吸収して益田の医療に貢献できるよう頑張ろうと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

島根大学に入学した時にあの懐かしい病院が崩され始めているのを見た。“あー、新しい病院になるんだなあと。”

大学では中学、高校と続けてい

て、昨年の4月より研修させて頂いている1年目の山崎 菜々子です。26年前にちょうど今の広い駐車場の所にあった前の病院で生まれ、高校まで過ごし、時々受診もしていました。

前の病院は今より小さく天井が低く、患者さんでザワザワした総合受付から急に患者さんが少なくなる暗い廊下を奥の方へ行くとホットする明るい小さな売店と散髪屋さん、喫茶店があり、そこからは誰もいなくなる暗い廊下がまた続いていましたのを覚えています。冬の夕方になると廊下の蛍光灯では一段と暗さが増して足が止まり、向こうから“こっち”と呼ばれてついて行つていました。

この地元で小さな一步を積み重ねていつか大きな歩みになるよう日々精進していきたいと思いますので今後とも宜しくお願ひいたします。

●研修医とは… 医療を実地で研修している医師を「研修医」といいます。大学病院または臨床研修指定病院において、初期臨床研修を2年間行います。

特集

骨折リエゾンサービスチームに聞いた

知っておきたい

# 二次性骨折予防 について

## 骨折リエゾンサービス (FLS)の取り組み

### 骨折リエゾンサービスとは?

さまざまな職種の連携により、脆弱性骨折患者<sup>※2</sup>に対する「骨粗鬆症治療開始率」「治療継続率」を上げるとともに、転倒予防を実践することで二次骨折を防ぐ取り組みです。

### なぜFLSが必要なのか?

脆弱性骨折後は二次骨折リスク、死亡リスクが高まります。そのため、大腿骨近位部または椎体に脆弱性骨折の既往がある場合は、骨密度測定値に関わらず骨粗鬆症と診断され、薬物治療を開始することとされています。

しかし、全国的に大腿骨近位部骨折後1年間に骨粗鬆症の薬物療法を行っていたのは、約20%との報告があります。FLSの介入によって一人でも多くの脆弱性骨折の患者さんが適切に骨粗鬆症と診断・治療され、二次骨折を予防することが求められています。

### FLSはどんなことをするのか?

日本骨粗鬆症学会が作成しているガイドライン(FLSクリニカルスタンダード)

- 当院では2021年12月よりFLSチームを立ち上げ、二次骨折予防の取り組みを開始しています。FLSのメンバーは、整形外科医をリーダーに、病棟・外来看護師、薬剤師、放射線技師、理学療法士、管理栄養士、MSW(医療ソーシャルワーカー)といったさまざまな職種で構成されています。今後もFLSメンバーの連携により田園域における二次骨折を予防するとともに、院内外に向けたFLSの周知と知識や情報提供を積極的に行っていきたい



リハビリテーション技術課  
理学療法士  
**石田 健治**  
(いしだ・けんじ)

※1 FLS: 骨折リエゾンサービス。Fracture Liaison Service の略で、リエゾンとは「つなぎ」、「連絡窓口」などを意味する。

※2 脆弱性(せいじゅくせい)骨折患者: 立った姿勢からの転倒による骨折か、それ以下の外力によって発生する非外傷性骨折

# 骨粗鬆症について

歳をとつて骨粗鬆症になり、骨の強度が低下したための骨折（脆弱骨折）、中でも大腿骨近位部骨折（脚の付け根の骨折）や脊椎の骨折は、治療を行っても自由に歩けなくなり介護が必要な状態となることが多い、また骨折後の死亡までの期間が短くなるとの報告もあり「骨卒中」と呼ぶことが提唱されています。

このような骨折を防ぐためには、骨粗鬆症の薬物による治療（一次骨折予防）が有効ですし、足腰を鍛えるなど「転ばない」ことも大切です。特に一度骨折すると再骨折する危険性が高くなるため、骨折の治療と同時に骨粗鬆症の治療を始め、またこれらを継続することが大変重要なとされています。（二次骨折予防と呼ばれます）。

まずは、患者さんやご家族に骨粗鬆症とその治療についてよく知っています。その上で、骨粗鬆症の評価を行い薬物治療を開始、さらに骨や筋肉を作る栄養のバランスに気をつけた食事、転ばないような筋肉の力や身体のバランス能力の評価、退院先の自宅の転びにくい環境作り、などの対策を考えていきます。骨粗鬆症の薬物治療開始前には歯の健康状態のチェックも必要ですので、歯科口腔外科での診察もあります。退院後もかかりつけの医師と連携



## 病棟看護師

患者さんやご家族の思いに寄り添いながら、骨折予防の必要性を分かりやすく説明することを心がけています。

他職種と連携し、退院後も治療を継続できるような方法を話し合っています。

## 管理栄養士

入院中、栄養指導や患者様の食事摂取状況に応じて嗜好・食形態に沿った食事提供・評価に努めています。

食事の面から二次骨折予防のサポートができるように繋げていきます。

## 外来看護師

退院後の外来受診の際、患者さん、ご家族の治療に関するケア・サポートをいたします。



## 放射線技師

骨粗鬆症の検査に測定精度の高いDEXA法を用いて腰椎と大腿骨の骨密度の測定を行います。

撮影台に横になるだけで、痛みもなく10分ほどで終了します。将来的な骨折リスクの評価のために定期的に検査を行いましょう。

## 薬剤師

近年、骨粗鬆症治療薬の開発が進み薬の種類も増えてきました。

入院中だけでなく退院後も継続して安全に薬物治療が行えるよう、患者さん、ご家族、そして連携医療機関の皆様と情報を共有ていきたいと思います。

## 医療ソーシャルワーカー

患者さん・ご家族のご意向を大切にし、病院内だけでなく院外医療機関やケアマネジャー等と連携し、安心して生活ができるよう支援します。

必要に応じて社会保障制度についてご説明いたします。



副院長

(整形外科医)

米井 徹

(よねい・とおる)

# DMATだより

DMAT: 災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team



令和4年11月12日に島根県東部で開催された、最大震度7の地震発生を想定とした中国ブロックDMAT訓練に参加しました。当院DMAT隊からは医師を含めたDMAT1隊での参加予定でしたが、急遽新型コロナ等の関係で医師不在のチーム（看護師：2名、調整員：4名）での参加となりました。

私たちのチームは当院を6時30

分に出発し、指定された活動拠点本部へ到着した後、すぐに本部活動を命じられ、9時～15時30分頃まで被災病院の情報収集や患者搬送の調整、DMAT派遣の調整、本部活動記録などを行いました。

今回の訓練では全体でDMAT隊が50隊ほど参加し、島根県内のDMATだけでも13隊のDMATが訓練に参加していました。

## LOOK BACK

## 過去のDMAT隊の活動紹介

到着後、活動拠点本部にて本部長への挨拶や受付を済ませ、どのような活動があるか指示待ち、三原市内の被災病院での地域の透析情報を収集したところ、患者搬送をして欲しいとの依頼を受け出ました。

本部長への挨拶や受付を済ませ、どのような活動があるか指示待ち、三原市内の被災病院での地域の透析情報を収集したところ、患者搬送をして欲しいとの依頼を受け出ました。

本部長への挨拶や受付を済ませ、どのような活動があるか指示待ち、三原市内の被災病院での地域の透析情報を収集したところ、患者搬送をして欲しいとの依頼を受け出ました。

大雨となり、特に被害の大きかった広島県福山市付近に医師1名、看護師2名、調整員2名の計5名が派遣されました。

き活動終了となりました。この活動を通して、DMAT隊の日頃からの訓練の成果もあり情報収集能力や様々な機関との協同活動の対応力の高さを強く感じました。

最後に今後も他施設の隊員との連携を強化し、さまざまな経験や知識を吸収して行きたいと思います。



## 令和4年度 中国地区ブロック訓練に参加

## 平成30年7月豪雨災害における 益田赤十字病院DMAT隊の活動

## 院内学術発表大会を開催しました

令和4年11月に院内学術発表大会を開催しました。研修医やコメディカル部門から8題の発表がありました。また、ミニレクチャーでは医師、看護師から1題ずつ発表がありました。フロアとの質疑応答もあり、参加者にとって大変有意義な時間となりました。



## 赴任医師歓迎事業を開催しました



令和4年12月に産婦人科の澤田医師の赴任に伴い、益田市より赴任医師歓迎事業を開催していただきました。益田市長より、歓迎の意をお伝えいただきました。また、澤田医師より、益田市のお産医療を守っていきたいとコメントがありました。



## 防火・防災訓練を実施しました



今年度2回目の防火・防災訓練を実施しました。休日の昼間に地震が発生し、建物の一部にひび割れ、院内で電気火災が発生したとの想定で、初期消火班や避難誘導班などの担当に分かれて活動しました。その他にも、院内の消火設備の説明を受けたり、担送訓練、消火器等を実際に使用したりしました。



# 益田赤十字病院 外来担当一覧

令和5年2月1日現在

科別	診療	月	火	水	木	金	備考
内科	午前	岡本 栄祐 (総合診療)	加藤 志帆 (総合診療)	青木 光 (総合診療)	加藤 志帆 (総合診療)	波多野 拓也 (総合診療)	予約の表示は、予約患者さまのみ
	午後	—	波多野拓也 (総合診療)	岡本 栄祐 (総合診療)	—	田部 佳奈子 (総合診療)	
	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)	竹谷 海 (内分泌・代謝)	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)	竹谷 海 (内分泌・代謝)	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)		
	馬庭 泰久 (血液・免疫)	高橋／馬庭 (血液・免疫 隔週)	馬庭 泰久 (血液・免疫)	鈴木／馬庭 (血液・免疫 隔週)	馬庭 泰久 (血液・免疫)		隔週の火曜日：高橋 勉 医師(島根大学内科学第三) 隔週の木曜日：鈴木 律朗 医師 (島根大学血液・腫瘍内科学教授)
	午前	—	加藤 輝士 (消化器)	—	加藤 輝士 (消化器)	—	
	園山 浩紀 (消化器)	山口 祐貴 (消化器)	天野 和寿 (消化器)	園山 浩紀 (消化器)	山口 祐貴 (消化器)		
	山崎 整児 (呼吸器) <small>予約</small>	—	山崎 整児 (呼吸器) <small>予約</small>	新井 健義 (呼吸器) <small>予約</small>	山崎 整児 (呼吸器) <small>予約</small>		
	新井 健義 (呼吸器) <small>予約</small>	近藤 正宏 (膠原病リウマチ内科)	—	—	—		隔週の火曜日：近藤正宏医師 (島根大学内科学第三)
	午前	古志野 海人	内田 利彦		内田 利彦	黒田 紘章	心カテ日：月～金曜日
	循環器科	午前	—	黒田 紘章	手術日のため 休診	古志野 海人	ベースメーカー外来：第1木曜日(予約)
	午後	—	—			—	休診日の対応：救急車受入・救急紹介のみ
脳神経内科	初診	木谷 光博 (13時～16時)		青木 廉仁	松井 龍吉	中川 知憲	もの忘れ外来：水曜日(予約)
	再診		休 診	木谷 光博 (13時～16時)			
		—		もの忘れ外来 <small>予約</small>	—	—	休診日の対応：救急車受入・救急紹介のみ
小児科	午前	三浦 勤	三浦 勤	三浦 勤	三浦 勤	三浦 勤	*完全予約制(但し、1ヶ月健診、3ヶ月未満の乳児を除く) 午前、午後ともに初診は紹介患者さまのみ
	中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	循環器外来：偶数月第4火曜日(予約)、 奇数月第4木曜日(予約)
	真玉 千紘	真玉 千紘	真玉 千紘	真玉 千紘	真玉 千紘	真玉 千紘	神経発達外来：瀧川 達医師(島根大学医学部小児科) 第2水曜日(予約)
	—	循環器外来 <small>予約</small>	神経発達外来 <small>予約</small>	循環器外来 <small>予約</small>	—	—	
	午後	予防接種	予防接種	乳児健診	乳児健診	予防接種	
外科	初診 紹介	三浦 義夫	黒田 博彦		植嶋 千尋	服部 晋司	手術日：月・水・金曜日
	再診	植嶋 千尋	服部 晋司	手術日のため 休診	三浦 義夫	黒田 博彦	緩和ケア外来：月曜日午後(予約) 乳腺外来：火曜日 13時～(予約)
	緩和ケア外来 <small>予約</small>	荒川 将司		佐々木陽平	セカンド <small>予約</small>	セカンドオピニオン外来：第1金曜日(予約) 田島 義謙 医師(島根大学医学部消化器・総合外科教授)	
	午後	—	乳腺外来 <small>予約</small>	塩田 摂成	—	—	休診日の対応：救急車受入・救急紹介のみ
脳神経外科	午前		休 診		石原 秀行	休 診	第1・3・5木曜日：石原 秀行 医師(山口大学 脳神経外科教授) 第2・4木曜日：岡 史朗 医師(山口大学 脳神経外科) 機能的脳神経外科専門外来：第3水曜日(完全予約制) 井本 浩哉 医師(山口大学 脳神経外科)
	午後		休 診		/ 岡 史朗		
整形外科	初診 紹介	米井 徹		小川 慎也		上村 篤史	初診は紹介患者さまのみ
	午前	上村 篤史	手術日のため 休診	米井 徹	手術日のため 休診	小川 慎也	手術日：火・木・金(午後)曜日 検査日：月・水・金曜日
	大塚 哲也			—		—	休診日の対応：救急車受入・救急紹介のみ
皮膚科	午前	金子 栄	金子 栄	金子 栄	金子 栄	—	初診は紹介患者さまのみ(全曜日は紹介不可)
	松本 香奈枝	松本 香奈枝	—	—	松本 香奈枝		アトピー外来：火曜日午後15時～16時30分(予約)
	午後	—	アトピー外来 <small>予約</small>	金子 栄(再診)	—	—	手術日：月曜日午後・金曜日午前
泌尿器科	初診 紹介	青木 明彦	日吉 浩一朗	矢野 誠司	手術日のため 休診	矢野 誠司	手術日：火曜日午後・木曜日午後 CAPD外来：月曜日 午後
	再診	矢野 誠司	青木 明彦	日吉 浩一朗		青木 明彦	休診日の対応：救急車受入・救急紹介のみ
産婦人科	1診	波多野 渚	片桐 敦子	担当 医	担当 医 片桐 浩	片桐 浩	*完全予約制 予約電話受付：平日の14時～16時
	2診	片桐 浩	片桐 浩	片桐 敦子	波多野 渚	片桐 敦子	
	完全予約制	片桐敦子(再診) 健診 <small>予約</small>	—	手術 マクニティクラス <small>予約</small>	片桐 浩(再診) 健診 <small>予約</small>	手術	予約午後診療：14時～15時(月・木)
耳鼻いんこう科	午前	休 診	休 診	休 診	大学医師	休 診	紹介患者さまのみ(受付：8時～11時)
眼科	午前	高井 保幸	高井 保幸	高井 保幸	高井 保幸	—	初診は紹介患者さまのみ
	午後	手術/高井保幸 <small>予約</small>	手術/高井保幸 <small>予約</small>	高井 保幸	—	手術	手術日：月・火・金曜日 午後の診療は14時開始 (手術日は開始時間が遅れることができます)
放射線科	午前	椋本 英光 <small>予約</small> 放射線治療外来	松浦 史奈	松浦 史奈	松浦 史奈 <small>予約</small> 放射線治療外来	応援医師	院外検査：月～金曜日(予約) アンギオ日：火・金曜日(午後) 放射線治療外来：島根大学応援医師(専門医) 予約：月曜日 第2・4週 9:00～15:00 / 木曜日 第1・3・5週 13:00～15:00
麻酔科	午前	術前診察のみ	術前診察のみ	術前診察のみ	術前診察のみ		
歯科口腔 外科	初診 紹介	市山 友子	市山 友子	手術日のため 救急紹介のみ		市山 友子	初診は紹介患者さまのみ
	再診			腫瘍外来 <small>予約</small>		市山 友子	手術日：水曜日 腫瘍外来： 第4水曜日：曾野 寛治 医師(島根大学医学部歯科口腔外科教授) 第1・2・3・5水曜日：奥井 雄雄 医師(島根大学医学部歯科口腔外科)

お問い合わせ先 / 益田赤十字病院 地域医療連携係 〒698-8501 島根県益田市乙吉町イ103番地1  
TEL.0856-22-1480(代) FAX.0856-32-3314